

(2) 総合評価シート (様式)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート (令和6年度)

施設名	吹田市立豊一市民センター	所管部室課名	市民部市民自治推進室
所在地	吹田市垂水町1-53-7	設置年月日	平成5年4月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	市民の集会等の用に供し、市民相互の交流並びに市民の文化及び福祉等の向上を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 (敷地面積)540.25㎡ (延床面積)627.70㎡ (貸室名称) 会議室、和室2室、音楽室	【開館日等】 (休館日)12月29日から1月3日、施設の点検日 (開館時間)午前9時から午後10時	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	大阪ガスビジネスクリエイト・国際ライフパートナー共同事業体					
(2)指定期間	令和2年(2020年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日(5年間)					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	施設の管理運営業務					
(5)指定管理者の収支			令和5年度		令和6年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	指定管理料 又は利用料金 (円)	28,455,000	28,489,568	28,455,000	28,455,000
		自主事業 (円)	2,876,000	2,088,331	2,900,000	2,277,472
		その他 (円)				
	支出	管理経費 (円)	28,455,000	32,279,997	28,455,000	35,715,676
		自主事業 (円)	2,148,200	1,817,213	2,148,300	1,794,181
		その他 (円)				
	収支差額 (円)		727,800	-3,519,311	751,700	-6,777,385

3 成果指標 (活動指標)

成果指標 (活動指標)		令和5年度		令和6年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	利用件数	-	2,765件	2,850件	2,655件
2	稼働率	-	53.00%	53.50%	51.00%
3	利用人数	-	40,984人	41,500人	40,125人
4					
5					
6					
7					
8					

4 ユーザーニーズの把握状況

(1)把握方法	・利用者アンケートの実施 ・窓口での利用者との対話
(2)把握結果	利用者アンケートでは、約73%の方から「満足」、「やや満足」との評価結果を得ております。主なご意見・ご要望は下記のとおり ・設備の破損、修繕箇所が放置されたままになっている・古い備品を新しくして欲しい(和室掛け軸) ・申し込みを窓口ではなくインターネットでできるようにして欲しい
(3)結果を受けての対応状況	経年劣化で交換・修繕を必要とするものが多く、安心してご利用いただけるよう、計画的に交換・修繕を図り施設の維持管理に努めてまいります。 申込み方法について利用者の利便性向上に向けて検討してまいります。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	・管理運営の方針は、事業計画書に記載されている事項を遵守されていた。 ・平等利用の確保は、利用者の公平性が確保されていた。
(2)施設の効用の発揮	・企業や大学と連携し、子供電気教室や豊一将棋教室などの自主事業を開催。特にスマホ教室については公共施設での開催で安心して受講できるとの声を多数いただいた。 ・折り紙等を用いて季節の花や生き物等を作成。またペットボトルキャップの新たな活用として立体のクリスマスツリーなどを作製し、ロビーや窓口で季節感を感じられる演出を行い、来館者から好評を得ている。 ・活動団体の活動の様子を撮影してロビーで放映。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	・窓口サービスの経験者を配置しており、普通救急救命講習会、AED講習等を受講している。 ・緊急連絡網が整備されており、円滑に市に報告連絡できる体制となっている。 ・雇用契約書が交わされており、法令も順守されたものとなっている。 ・業務研修（コンプライアンス、人権、消防設備等操作訓練等）を実施している。
(4)施設の管理経費の縮減	・10万円(税別)以上の物品購入は見積合わせを必須としている。 ・労務費は年2回本社によるヒアリングを受け、二元管理により、労務費の効率的かつ効果的な執行に努めている。 ・事務所電灯の間引き、蛍光灯のLED化、電力供給事業者の見直しによる電気料金の節減、トイレ用擬音装置の設置を進めて水道料金の縮減に取り組んでいる。
(5)その他	・独自にホームページを作成し、施設情報やイベントに関する情報のほか、利用団体の参加者募集ページを作成し、利用団体の活動支援に取り組んでいる。 ・地域住民の連携事業であるペットボトルアートを実施し、環境保護意識の啓発に取り組むとともに、館内の景観向上に取り組んでいる。 ・地域住民が実施する防災訓練等の地域行事へも積極的に関わることで、地域に根差した施設運営に取り組んでいる。 ・スマホを持たない施設利用者が予約システムを利用できるよう窓口利用者用のパソコンを設置。操作案内マニュアルを作成するほか、パソコンが不慣れな方へのサポートに取り組んでいる。地域住民の連携事業であるペットボトルアートを実施し、環境保護意識の啓発に取り組むとともに、館内の景観向上に取り組んだ。近隣に公園があり、子どもの来館が多いため、退館後の道路横断時の見守りを行っている。
(6)総合評価	利用件数、稼働率、利用人数は前年度と比較して減少したが、管理を安定して行う運営体制をとっており、運営内容も、市民の平等な利用を確保し、施設の設置目的に合致した事業内容を展開し利用者アンケートで要望のあった講座を自主事業として実施するなど施設の効用を発揮しつつ、管理経費の縮減にも取り組んでいる。